



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月28日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	15,814	56.2	△1,558	—	△844	—	△1,068	—
2021年3月期第2四半期	10,126	△40.8	△4,183	—	△3,135	—	△3,208	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 △923百万円(—%) 2021年3月期第2四半期 △4,464百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	△30.96	—
2021年3月期第2四半期	△92.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	103,511	88,768	85.7
2021年3月期	110,140	90,036	81.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 88,736百万円 2021年3月期 89,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年3月期	—	5.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	28,000	14.3	△7,000	—	△6,300	—	△6,400	△185.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	35,800,000株	2021年3月期	35,800,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,285,161株	2021年3月期	1,288,541株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	34,513,219株	2021年3月期2Q	34,511,528株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	13
受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済の動向は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中、米国では経済活動の再開にともない需要の急拡大によるインフレが継続し、中国では資源高や政府の投資抑制策等を背景に経済活動は減速感があります。一方、欧州ではワクチンの普及と行動制限緩和により景気は緩やかに回復が見られます。わが国においては、半導体その他原材料の調達難から製造業の生産活動は下振れ、さらに個人消費の弱さが継続するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループはこれまで以上に世界各地の顧客、業界の課題解決に向けて、ニット製品の可能性を大きく広げるホールガーメント横編機、バーチャルサンプルによって商品企画のプロセスを飛躍的に効率化できるデザインシステムはじめ、生産工場やアパレル企業のビジネスモデル変革やサステナブルなモノづくりを実現するための製品・サービス・ソリューションの提案活動に注力しました。また7月には多様化する勤務形態に対応するデザインソフトウェアのサブスクリプションサービスである「APEXFiZ」の追加ラインアップとして、パターンメイキング・グレーディング・マーキング専用のアパレル・設計CADソフトウェア「APEXFiZPGM」を発売いたしました。

コア・ビジネスである横編機事業の状況は、アジア地域では、中国市場においてOEM型生産から国内衣料品市場に向けた高付加価値商品のモノづくりへの転換を図るとともに、人件費上昇と人手不足から省人化を進める動きは強く、他社にないニードルベッドを4枚搭載したファイナージのホールガーメント横編機の導入が伸長しました。その他アジア市場においても設備投資が回復傾向となりコンピュータ横編機の売上が増加しました。欧州では、付加価値の高い商品開発を得意とするイタリアにおいて、経済活動の再開に向けた設備投資が活発となり、高級品を中心にホールガーメント横編機等の需要が増加しました。これらの結果、横編機事業全体の売上高は104億77百万円（前年同四半期比67.9%増）となりました。

デザインシステム関連事業においては、アパレルデザインシステム「SDS-ONE APEX4」は横編機事業の売上増加にともない販売台数が増加し、さらに今期より本格的にスタートした「APEXFiZ」は欧米、国内アパレルブランドを中心にライセンス契約数が伸長しました。また自動裁断機「PCAM」についても需要が回復傾向となり、売上高は13億10百万円（前年同四半期比56.3%増）となりました。

手袋靴下編機事業は、国内及び海外大手ユーザーの設備投資が順調に伸びたことで売上高は16億4百万円（前年同四半期比61.6%増）となりました。その他事業につきましては、売上高は24億22百万円（前年同四半期比17.8%増）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間全体の売上高は158億14百万円（前年同四半期比56.2%増）となりました。利益面におきましては、工場操業度が改善したことにより売上総利益率は回復傾向となり、また販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業損失は減少し15億58百万円（前年同四半期は営業損失41億83百万円）となりました。営業外において貸倒引当金戻入益の計上等により経常損失8億44百万円（前年同四半期は経常損失31億35百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失10億68百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失32億8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、売上債権の減少などで前連結会計年度末に比べ66億28百万円減少し、1,035億11百万円となりました。負債合計は買掛金や短期借入金の減少などで前連結会計年度末に比べ53億60百万円減少し、147億43百万円となりました。また自己資本の額は、887億36百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて4ポイント上昇し85.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において売上債権、棚卸資産の減少などで20億79百万円の資金の増加（前年同四半期は5億46百万円の資金の増加）となりました。投資活動においては有形固定資産の取得による支出などにより8億63百万円の資金の減少（前年同四半期は20億29百万円の資金の増加）となりました。また財務活動においては短期借入金の返済や配当金の支払いなどにより47億93百万円の資金の減少（前年同四半期は31億30百万円の資金の減少）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて35億76百万円減少し、220億6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、世界的な半導体その他原材料の供給逼迫や国際輸送コストの高騰など事業活動に及ぼす影響が不透明であることから、現時点においては、2021年5月7日に公表いたしました業績予想を据え置くことといたします。今後の業績動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,636	22,071
受取手形及び売掛金	44,823	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	43,124
商品及び製品	7,899	7,309
仕掛品	1,081	846
原材料及び貯蔵品	7,232	6,393
その他	953	854
貸倒引当金	△4,816	△4,674
流動資産合計	82,811	75,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,254	7,042
土地	6,473	6,426
その他（純額）	2,315	2,806
有形固定資産合計	16,043	16,275
無形固定資産		
のれん	2,197	2,013
その他	105	129
無形固定資産合計	2,302	2,143
投資その他の資産		
投資有価証券	5,758	6,059
退職給付に係る資産	1,184	1,183
繰延税金資産	360	330
その他	3,128	3,027
貸倒引当金	△1,448	△1,432
投資その他の資産合計	8,983	9,167
固定資産合計	27,328	27,586
資産合計	110,140	103,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,393	1,435
電子記録債務	280	476
短期借入金	6,235	2,238
リース債務	943	941
未払法人税等	164	326
契約負債	—	644
賞与引当金	982	891
債務保証損失引当金	230	211
その他	3,403	2,367
流動負債合計	14,633	9,535
固定負債		
長期未払金	967	947
リース債務	2,323	2,114
繰延税金負債	556	545
退職給付に係る負債	1,406	1,384
その他	216	216
固定負債合計	5,470	5,208
負債合計	20,104	14,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	23,424	23,423
利益剰余金	55,648	54,234
自己株式	△3,935	△3,925
株主資本合計	89,996	88,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606	589
土地再評価差額金	33	33
為替換算調整勘定	△324	△165
退職給付に係る調整累計額	△316	△313
その他の包括利益累計額合計	△0	144
新株予約権	23	16
非支配株主持分	15	15
純資産合計	90,036	88,768
負債純資産合計	110,140	103,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	10,126	15,814
売上原価	7,576	10,378
売上総利益	2,550	5,436
販売費及び一般管理費	6,733	6,995
営業損失(△)	△4,183	△1,558
営業外収益		
受取利息	175	158
受取配当金	88	75
貸倒引当金戻入益	—	184
助成金収入	572	91
その他	323	271
営業外収益合計	1,159	781
営業外費用		
支払利息	44	21
固定資産賃貸費用	41	19
その他	25	26
営業外費用合計	111	67
経常損失(△)	△3,135	△844
特別利益		
固定資産売却益	38	—
投資有価証券売却益	118	—
特別利益合計	157	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	10
投資有価証券評価損	67	—
特別損失合計	67	10
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,045	△854
法人税、住民税及び事業税	71	178
法人税等調整額	92	34
法人税等合計	164	213
四半期純損失(△)	△3,209	△1,068
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,208	△1,068

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△3,209	△1,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	△16
為替換算調整勘定	△462	158
退職給付に係る調整額	△843	2
その他の包括利益合計	△1,254	144
四半期包括利益	△4,464	△923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,463	△924
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,045	△854
減価償却費	1,158	638
のれん償却額	196	201
貸倒引当金の増減額(△は減少)	110	△187
賞与引当金の増減額(△は減少)	△199	△90
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29	△25
受取利息及び受取配当金	△264	△233
支払利息	44	21
為替差損益(△は益)	△196	7
有形固定資産除売却損益(△は益)	△38	10
投資有価証券売却損益(△は益)	△118	—
投資有価証券評価損益(△は益)	67	—
助成金収入	△572	△91
売上債権の増減額(△は増加)	4,409	1,499
棚卸資産の増減額(△は増加)	393	1,661
その他の流動資産の増減額(△は増加)	144	△38
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,561	△765
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△705	△20
その他	181	52
小計	33	1,784
利息及び配当金の受取額	261	233
利息の支払額	△52	△23
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△79	25
助成金の受取額	384	60
営業活動によるキャッシュ・フロー	546	2,079
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△53	△27
定期預金の払戻による収入	22	17
有形固定資産の取得による支出	△425	△629
有形固定資産の売却による収入	105	56
投資有価証券の取得による支出	△202	△2
投資有価証券の売却による収入	2,309	—
関係会社株式の取得による支出	—	△339
短期貸付金の純増減額(△は増加)	50	—
その他	224	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,029	△863
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,127	△3,981
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△485	△466
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△517	△344
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,130	△4,793
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△587	△3,576
現金及び現金同等物の期首残高	21,582	25,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,995	22,006

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であり、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,238	838	992	8,070	2,056	10,126
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,238	838	992	8,070	2,056	10,126
セグメント損失(△)	△1,004	△19	△165	△1,188	△17	△1,206

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△1,188
「その他」の区分の損失	△17
全社費用(注)	△2,976
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△4,183

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
一時点で移転される財	10,477	1,310	1,604	13,392	2,300	15,693
一定の期間にわたり移転 されるサービス	—	—	—	—	121	121
顧客との契約から生じる 収益	10,477	1,310	1,604	13,392	2,422	15,814
外部顧客への売上高	10,477	1,310	1,604	13,392	2,422	15,814
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,477	1,310	1,604	13,392	2,422	15,814
セグメント利益	860	362	55	1,278	225	1,503

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,278
「その他」の区分の利益	225
全社費用(注)	△3,062
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,558

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

【関連情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
2,339	2,035	363	4,817	570	10,126

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
3,552	4,520	369	6,546	825	15,814

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

3. 補足情報 受注及び販売の状況

①受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期 増減率	受注残高	前年同四半期 増減率
横編機	10,772	125.4%	4,008	175.7%
デザインシステム関連	1,634	42.2%	566	11.8%
手袋靴下編機	1,725	57.9%	654	222.8%
合計	14,132	101.3%	5,229	141.8%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期増減率
横編機	10,477	67.9%
デザインシステム関連	1,310	56.3%
手袋靴下編機	1,604	61.6%
その他	2,422	17.8%
合計	15,814	56.2%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。